

## 陳 情 書

### 【陳情の趣旨】

2022年3月より5歳から11歳の子供たちへの新型コロナワクチン接種がはじまる予定と発表がありました。

公益社団法人日本小児科学会 予防接種・感染症対策委員会の12歳以上の「子どもへのワクチン接種の考え方」(抜粋2021年11月2日改訂)によれば「高齢者と比べて思春期の子ども達,若年成人では接種部位の疼痛出現頻度は約90%と高く,接種後,特に2回目接種後に発熱,全身倦怠感,頭痛等の全身反応が起こる頻度も高いことが示されています(例:37.5℃以上の発熱は20代で約50%,50代で約30%,70代で約10%)。以上のことから,ワクチン接種を検討する際には本人および養育者に十分な接種前の説明と接種後の健康観察が必要であると考えます」

「子どもへのワクチン接種は,先行する成人への接種状況を踏まえて慎重に実施されることが望ましく,また,接種にあたってはメリットとデメリットを本人と養育者が十分に理解していること,接種前・中・後におけるきめ細かな対応を行うことが前提であり,できれば個別接種が望ましいと考えます。やむを得ず集団接種を実施する際には,本人と養育者に対する個別の説明をしっかりと行う配慮が望まれます。ワクチン接種を希望しない子どもと養育者に対しては,特別扱いされないような十分な配慮が必要と考えます。」との記述があり,また,5~11歳の健康な子どもへのワクチン接種に関しては12歳以上の健康な子どもへのワクチン接種と同様に意義があるとしながらも,「健康な子どもへのワクチン接種には,メリット(発症拡大予防等)とデメリット(副反応等)を本人と養育者が十分理解し,接種前・中・後にきめ細やかな対応が必要です。」との指摘があります。

厚生労働省が発表した新型コロナウイルスに感染し亡くなった0歳から11歳までの数は0人です。また重症者割合も0.0%となっています。一方で,10代でのワクチン接種後の副反応としては全体で1,609件,そのうち死亡が5件,重篤な副反応が387件,そして接種開始以降大きな問題となっている心筋炎は133件との報告があります。

### 【陳情事項】

- 1 5歳~11歳ワクチン接種の効果とリスクについてわかりやすい適切で丁寧な情報提供と相談体制等(ワクチン後遺症の相談も含めた)の充実をもとめます。

- ワクチン接種は任意であることから、差別や排除がないように具体的に市から呼びかける働きを徹底してください。